

安全データシート (SDS)

作成日: 2017年 11月22日

1 製品及び会社情報

製品名 : PLATINUM GLAZE R
会社名 : 株式会社トーコー
住所 : 東京都三鷹市下連雀7-12-25
電話番号 : 0422-49-1251
FAX番号 : 0422-42-3077

推奨用途及び使用上の制限 : 自動車塗装面用コーティング剤

2 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない。
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口、経皮) 区分5
急性毒性(吸入:蒸気、ミスト) 区分5
皮膚腐食性・刺激性 区分3
環境に対する有害性 : 危険有害性の分類に該当するという情報はありません。
* 記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」である。

【GHSラベル要素】

絵表示 : —

注意喚起後 : **警告**

【危険有害性情報】

飲み込むと有害のおそれ。
ミストを吸入すると有害のおそれ。
軽度の皮膚刺激。

【注意書き】

[安全対策]

全ての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。
ミストを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
保護マスク、保護手袋、保護衣、保護眼鏡等を着用すること。

[応急措置]

火災の場合 : 不燃性なので、周囲の火災状況に適した消火剤を使用する。
皮膚(または髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診断を受けること。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けること。
[保管] 直射日光を避け、涼しい所に置くこと。
容器を密閉すること。
[廃棄] 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

組成及び成分情報 :

化学名又は一般名	CAS番号	化審法*1	安衛法*2	含有量
シリコーンレジン	非公開	非公開	-	非公開
界面活性剤	非公開	非公開	-	非公開
安定化剤	非公開	非公開	-	非公開
防腐剤	非公開	非公開	-	微量
水	7732-18-5	-	-	残量

*1 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

*2 労働安全衛生法 第57条の2 名称等を通知すべき有害物質 政令番号

4 応急処置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動する。

症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を石鹼と水で洗うこと。

症状が続く場合、医師に連絡すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。

その後も洗浄を続けること。

症状が続く場合、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。

無理にはき出さず、直ちに医師の診断を受けること。

応急措置をする者の保護 : 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気を付けさせる。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

適切な消火剤 : 不燃性なので、周囲の火災状況に適した消火剤を使用する。

火災時の特有の危険有害性 : データなし

特有の消火方法 : データなし

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の処置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用する。

【環境に対する注意事項】

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境への流出を避ける。

【封じ込め及び浄化の方法・機材】

多量の流出 : 危険を伴わずにできる場合、物質の流れを止める。

可能な場合、漏出物が広がるのを防止すること。

プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。

パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。

水路、下水道、地下または密閉地域への流入を防ぐ。

少量の流出 : 布等の吸収材で拭き取る。

残った汚染を除去するために床をよく清掃すること。

* 回収した本品を使用することは絶対に避けること。

7 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策 : 換気のよい場所で取り扱うこと。

安全取扱注意事項 : すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

保護具(眼鏡、手袋等)を着用すること。

この製品を使用する時、飲食や喫煙をしないこと。

ミストを吸入しないこと。

直射日光を避ける。

取扱い後は手をよく洗うこと。

【保管】

技術的対策 : 直射日光を避け、涼しく乾燥した場所で保管する。

(適切な保管条件) 換気のよい場所で保管する。

容器を密閉すること。
混触危険物質 : データなし
安全な容器包装材料 : 元の容器で保管する。

8 暴露防止及び保護措置

【管理濃度】 規定なし
【許容濃度】 規定なし
【設備対策】 室内作業場での使用の場合、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
洗眼設備を設置する。
【保護具】

呼吸器用保護具 : 必要に応じて保護マスク等を着用する。
手の保護具 : 保護手袋を着用する。
目の保護具 : 側板付き安全眼鏡(またはゴーグル)を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外 観 : 乳白色液体
臭 い : 微臭
引火点 : データなし
発火点 : データなし
沸 点 : 約100°C
比 重 : 0.98 (20°C)
p H : 8.5±0.5 (弱アルカリ性)
溶解度 : 水に溶解する

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性 : 通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性 : 通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件 : 日光、熱。
混触危険物質 : データなし
危険有害性分解生成物 : データなし

11 有害性情報

【製品の有害性情報】 データなし
【成分の有害性情報】
急性毒性 : 【区分5】は、界面活性剤に起因する。
急性毒性 (経口) マウス LD50 = 15g/kg
皮膚腐食性・刺激性 : 【区分3】は、界面活性剤に起因する。
皮膚や眼、鼻、喉等の粘膜を刺激することがある。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外
呼吸器感作性 : データなし
皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発ガン性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露) : データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露) : データなし
吸引性呼吸器有害性 : データなし

12 環境影響情報

【製品の環境影響情報】 データなし
【成分の環境影響情報】
生態毒性 : 界面活性剤
急性 魚類 (ヒメダカ) 48時間 TLm 180ppm
慢性 区分外
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の有害性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却処理。
少量の場合はおがくず、ウエス等に吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。
本品を下水や給水設備に流さないこと。
必要に応じて、マスク等の保護具を着用すること。
廃棄においては、関連法規制並びに地方自治体の基準に従うこと。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後、関連法規制並びに地方自治体の基準に従うこと。

14 輸送上の注意

【国際規制】

陸上輸送 (ADR/RID の規定に従う)

- 国連番号 : 非該当
品名 : 非該当
国連危険物分類 : 非該当
副次危険性 : 非該当
容器等級 : 非該当

海上輸送 (IMO の規定に従う)

- 国連番号 : 非該当
品名 : 非該当
国連危険物分類 : 非該当
副次危険性 : 非該当
容器等級 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
IBCコード : 非該当

航空輸送 (ICAO/IATA の規定に従う)

- 国連番号 : 非該当
品名 : 非該当
国連危険物分類 : 非該当
副次危険性 : 非該当
容器等級 : 非該当

【国内規制】 国内輸送については「15. 適用法令」の規制に従うこと。

【緊急時応急措置指針番号】 非該当

15 適用法令

- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
消防法 : 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR法) : 非該当

16 引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム (CHRIP)
http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。

御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをするときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。